



# AU 通信

芦屋ユネスコ協会  
事務局 〒659-8501 芦屋市精道町7-6  
芦屋市教育委員会 社会教育部  
生涯学習課内

TEL 0797-38-2091  
FAX 0797-38-2089

ホームページアドレス

<http://www.unesco.or.jp/ashiya/>

Eメールアドレス

ashiya@unesco.or.jp

発行：芦屋ユネスコ協会  
会長 広瀬忠子

「戦争は心の中で生まれるものだから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」

芦屋ユネスコ協会 世界遺産・地域遺産 見学バス旅行

## 姫路、神戸方面(書写山圓教寺・舞子公園・相楽園・魚棚)



4月9日(月)恒例のバス旅行は、春爛漫、花満開の中、世界遺産の姫路城を車窓から眺め、今回は、山上へロープウェイを使い、弁慶が修行した重要文化財「書写山圓教寺」を訪ねました。宇治平等院本尊の阿弥陀如来像よりも50年近く古いと言われる日本最古の一刀彫りの木像が安置され、禅寺としては小型ながら古い様式を多く残している。康保3年性空上人によって開かれた西国27番札所として知られているが、最近はNHK 大河ドラマ「武蔵」やハリウッド映画の「ラストサムライ」のロケ地となり注目されました。見どころは何といっても斜面に立つ舞台造りの摩尼殿や大講堂、護法堂などで由緒正しい美しい名刹でした。

昼食には、同寺に伝承されている伝統的な精進料理を境内で賞味した事は特別な趣きがありました。午後は、世界最長の吊り橋の「明石大橋」を中心とした「舞子臨海公園」や隣接の中国革命家孫文が住んでいた「六角堂」を見学しました。更に兵庫県庁隣接の「相楽園」で夕景色の中、ハッサム邸や姫路池田藩の御座舟など新旧取り混ぜた文化の質の高さを再発見できました。また今回は明石の「魚棚(ウォンタナ)」にも立ち寄り大急ぎの買い物をしたのも楽しい思い出になりました。定刻には芦屋に帰着、兵庫県内の地域遺産を存分に学び楽しんだバス旅行でした。（森 隆資 交流部会長）



## バス旅行に同行して頂いた特別学芸員両氏から寄稿頂いた地域遺産の考察と意向

### ①映画の街・姫路—映画を利用した文化財の活用

萩原由加里さん（立命館大学院・先端総合学術研究科、博士課程、日本映画史）

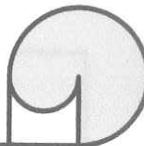
どの土地にも、地域遺産というべき文化財があります。これから時代は文化財をいかに活用していくかが重要となってきます。今回訪れた姫路は、多くの文化財を擁します。その筆頭が姫路城と圓教寺でしょう。姫路城は、昔から数多くのTV・映画のロケで使われてきました。更に近年、圓教寺はハリウッド映画「ラスト・サムライ」（2003年）のロケ地となり、それまで寺に興味の無かったような若者も訪れるようになりました。このように、映画・TVを通じて、姫路は歴史的情緒にあふれた街というイメージを定着させることに成功したのです。その成功の陰には、姫路フィルムコミッショ（姫路FC）の存在があります。姫路FCは、市や観光協会等が協力して設立した組織で、映画・TVのロケを依頼されると、役所への撮影許可申請、宿泊、食事の斡旋、エキストラの募集など、様々な支援を行います。しかし、ロケ誘致の問題点として、撮影中の文化財の破損があります。姫路FCでは、撮影者に文化財保護の説明をし、更に姫路FCスタッフが必ず撮影に立ち会うという対策をとっています。その街の歴史・文化を理解する人々が仲介役を務めることで、文化財を護りながらも、一方で活用していくことがこれからの時代は大切なのです。



### ②世界遺産から地域遺産を考える—芦屋文化財の将来—

森 亮資さん（立命館大学院・社会学研究科、博士課程、科学技術史）

この度の「ユネスコ世界遺産ツアー」には、今までに無い全く新しい視点が加わりました。それは、地域に残された歴史遺産を我々がどのように考え、継承してゆくか？という新しい視点です。ご存知のように、芦屋には何百年もの歴史があるような世界遺産はありません。しかし、明治以降、数多くの経済人、文化人が住み、昨今注目されている「阪神間モダニズム」を生み出し続けた「近代遺産」があります。芦屋の遺産とは、イメージ（高級住宅街や、落ち着いた街並み、市民の文化的土壤）であり、他の都市には見られないものです。普通に住んでいる街並みこそが芦屋の文化財であり、最大の遺産なのです。何百年もたった建物だけが文化財ではありません。現代の建築物・一般の住宅でも、将来は文化財となる運命です。谷崎潤一郎の「細雪」、山崎豊子の「白い巨塔」・「華麗なる一族」では芦屋市民が醸し出す風情や、街並みが重要な役割を果たし、物語に深い印象を与え、たびたびロケ地にもなってきました。最近でも、芦屋は映画やドラマで、たびたび採り上げられています。しかし、そこには芦屋の街並みは出てきていません。全て別の場所で撮影された“ニセモノ”です。これは、芦屋の危機であると、云わざるを得ません。再び、映画・TVを通じて、本来の芦屋のイメージを広く伝えていくことで、さらに住民自身の意識も高まり、街が守られていくと考えます。



## 2007年度 総会 出席のお願い

下記の日時で開催されますのでご予定下さい。

日時; **6月22日(金曜日)午後 5時30分**

場所; 市民センター301室

総会終了後、直ちに藤原 教育長の記念講演があり、その後 多目的ホールで**会員交流懇親会(パーティー)**を行います。出欠の案内とご返事の往復ハガキを差し上げますので到着次第**すぐに出欠の返信をして下さい。**万一欠席の場合は委任状に必ず署名捺印して返信してください。くれぐれもよろしくお願ひ致します。

## 書き損じハガキ ご寄贈の御礼

下記の団体、学校、会員、市民の皆さんから沢山の書き損じハガキをご寄贈頂きました。早速、本部に送り「世界寺小屋運動」の学校建設に貢献させて頂きました。本当に有難うございました。感謝申し上げております。

○翠巒会 様

○芦屋 UNESCO レディース・セミナーハウス様

○芦屋川ロータリークラブ 様

○芦屋市婦人会 様

○芦屋市役所職員ご一同 様

○芦屋市教育委員会職員ご一同様

○芦屋大学附属高等学校・中学校生徒会 様

○甲南高等学校・甲南中学校 様 (本部直送)

○山手中学校 様

○山手小学校 様

○打出浜小学校 様

○朝日が丘小学校 様

○潮見中学校 様

○潮見小学校 様

○精道中学校 様

○精道小学校 様

○岩園小学校 様

○浜風小学校 様

○福知山市 塩見成美 様

○大阪阿倍野区 横山謙一 様

○神戸市 高田信介 様

○芦屋市 芳野絢子 様

※その他 会員・市民の皆さんに「書き損じハガキ」の回収に大変ご協力を頂きました。

## 重要なお願い

## 2007年度年会費納入のお願い

今年の芦屋ユネスコ協会の年会費をなるべく早く納入して下さい。  
納入方法は出来るだけ担当の役員さんに現金で届けて下さい。

銀行振込みの場合は

三井住友銀行 芦屋駅前支店 普通口座 3901693  
口座名義 芦屋ユネスコ協会 会長 広瀬 忠子

※遅くなつた方は6月22日（金）の総会で必ず納入して下さい。

## 小笠原訪問記

昨年11月26日より6日間、平成23年夏にユネスコ世界自然遺産として日本では屋久島、白神山地、知床に続き4番目に選定される予定の小笠原諸島の父島、母島を小笠原村、小笠原村観光協会の招きで訪れた。

東京から南へ1000Km、船で25時間、コバルト色に輝く太平洋上に浮かぶ小笠原諸島は未だ大陸と繋がったことのない世界的にも貴重な固有動植物や地層の宝庫。東洋のガラパゴスと呼ばれている。

冬場は北の海から南下してくるホエールウォッチングのメッカである。

滞在中は天気に恵まれ、野生のイルカとドルフィンスイミングを楽しむ事ができた。原始林の中のトレッキングや夜の星空観察、島の人たちのフラダンスの歓迎など素朴な魅力が心を打つ。

母島から南230kmには、日本兵21900名、米国兵6821名が戦死した世界中の人が忘れてはいけない島、硫黄島がある。今年5月23日から6日間硫黄島を訪れるツアーも企画されている。又来年6月には本土復帰40周年式典を迎える。

クリントイーストウッド監督の映画「硫黄島からの手紙」はゴールデングローブ賞を受賞した。

この戦いの意味は未来へ今、語り継なければならぬ。（中川 明 協会理事）



父島より兄島を望む

### 編集後記

AU通信の編集に携わり早くも一年経ちました。

なんとか形にはなってきましたが（？）  
これからもよろしくお願ひいたします。  
本荘 美恵